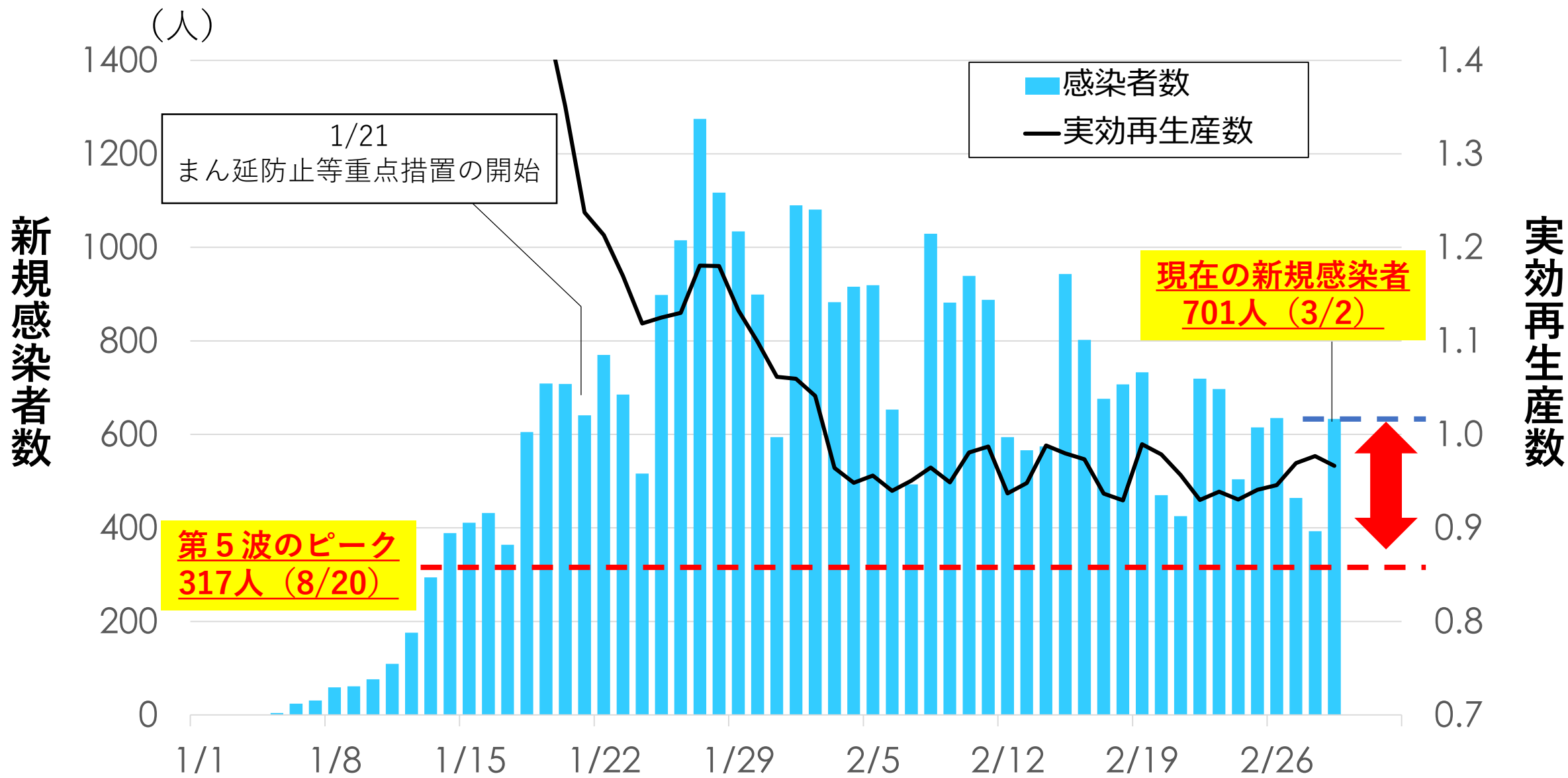


# 知事臨時記者會見

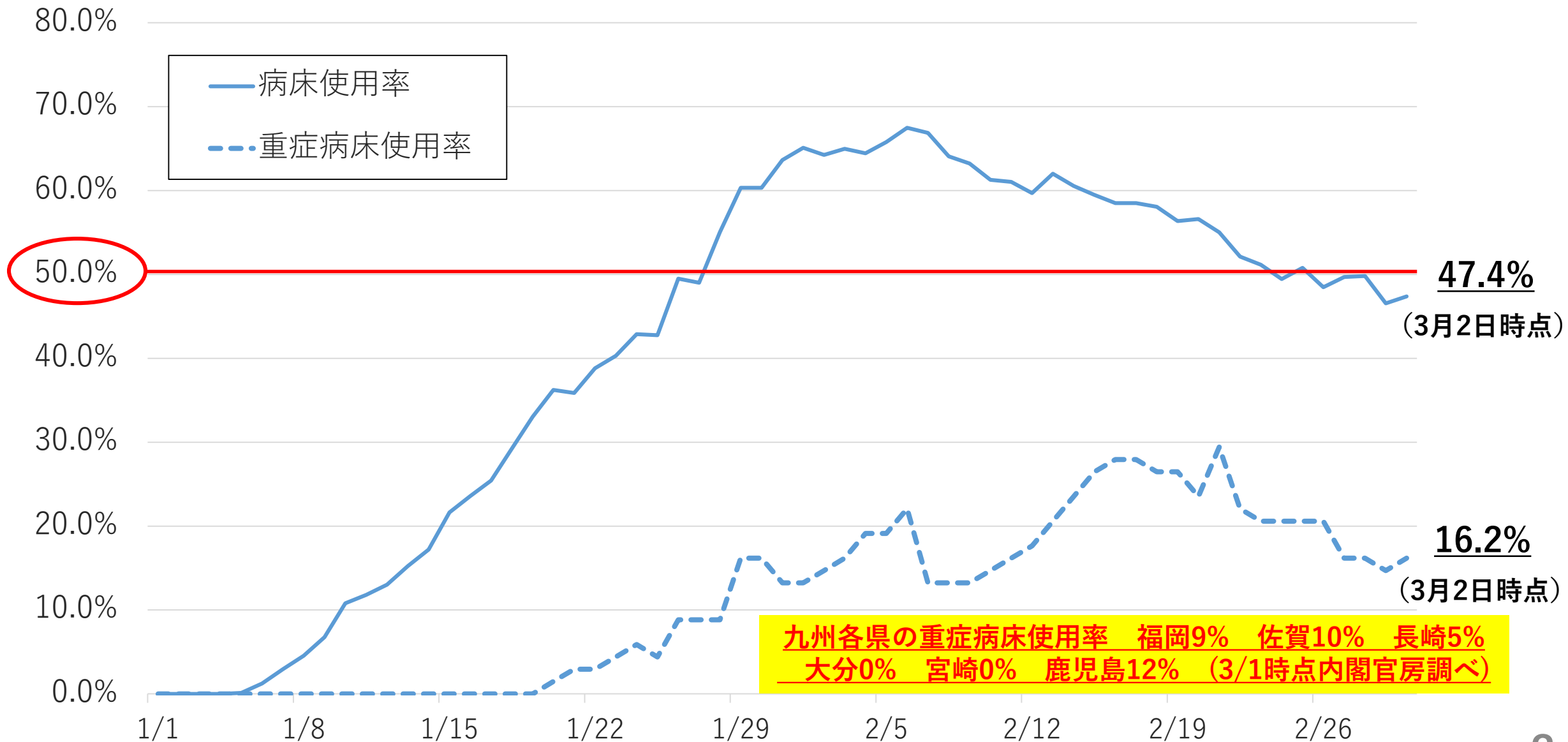
令和4年（2022年）3月3日（木）

# 新規感染者数の状況

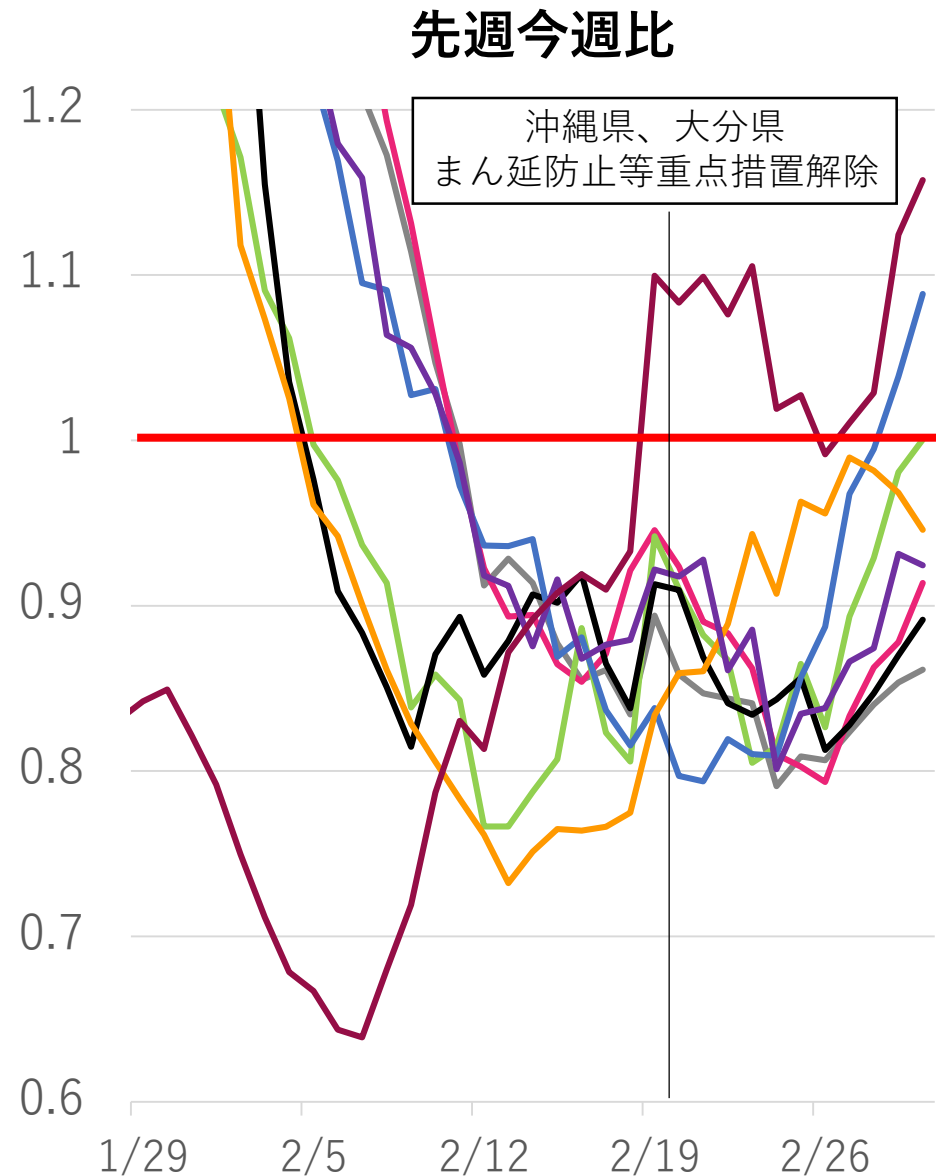
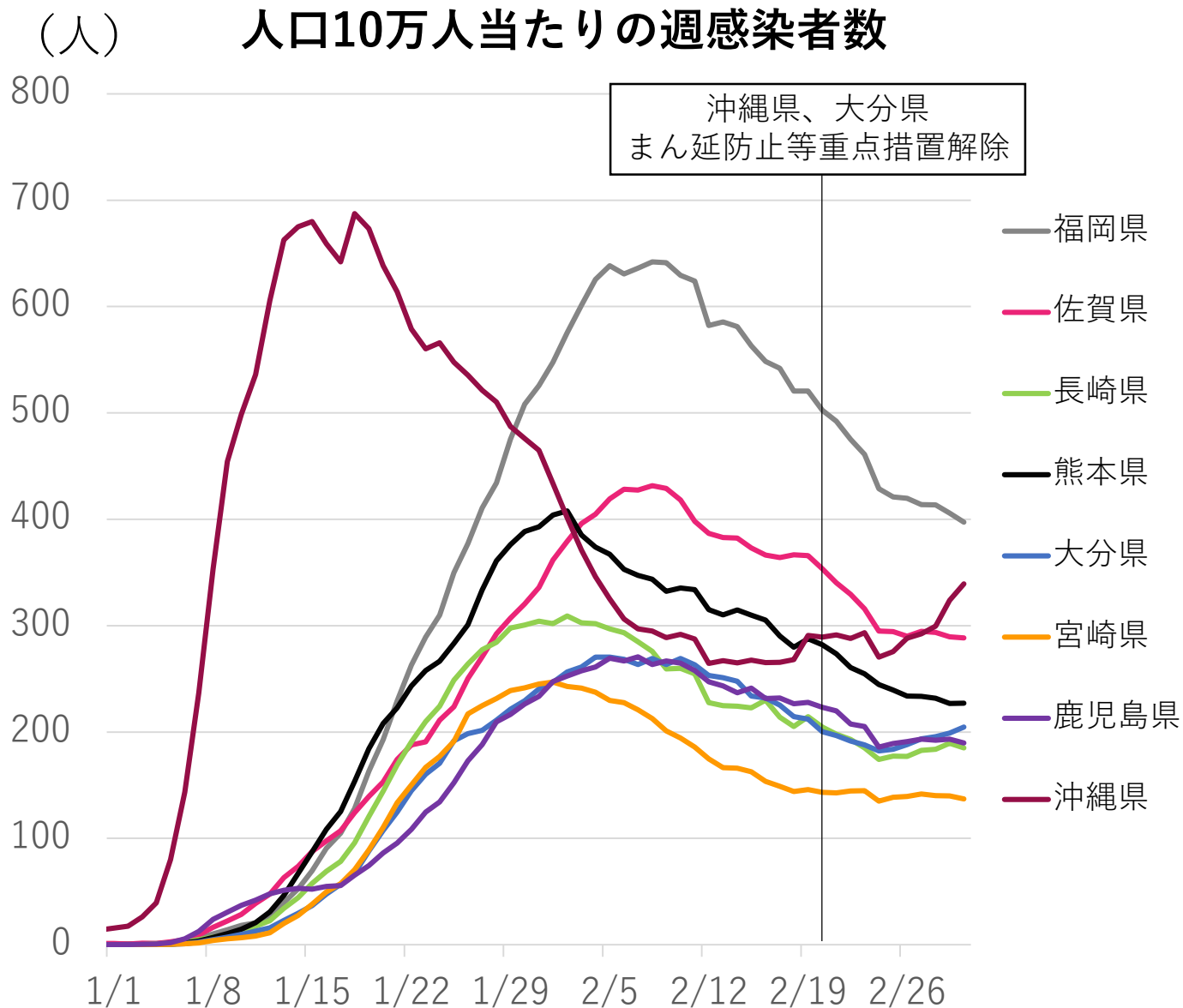


実効再生産数はSerial interval=2.12(標準偏差1.43)の分布を用い、Coliらの方法で推定。

# 病床使用率の状況

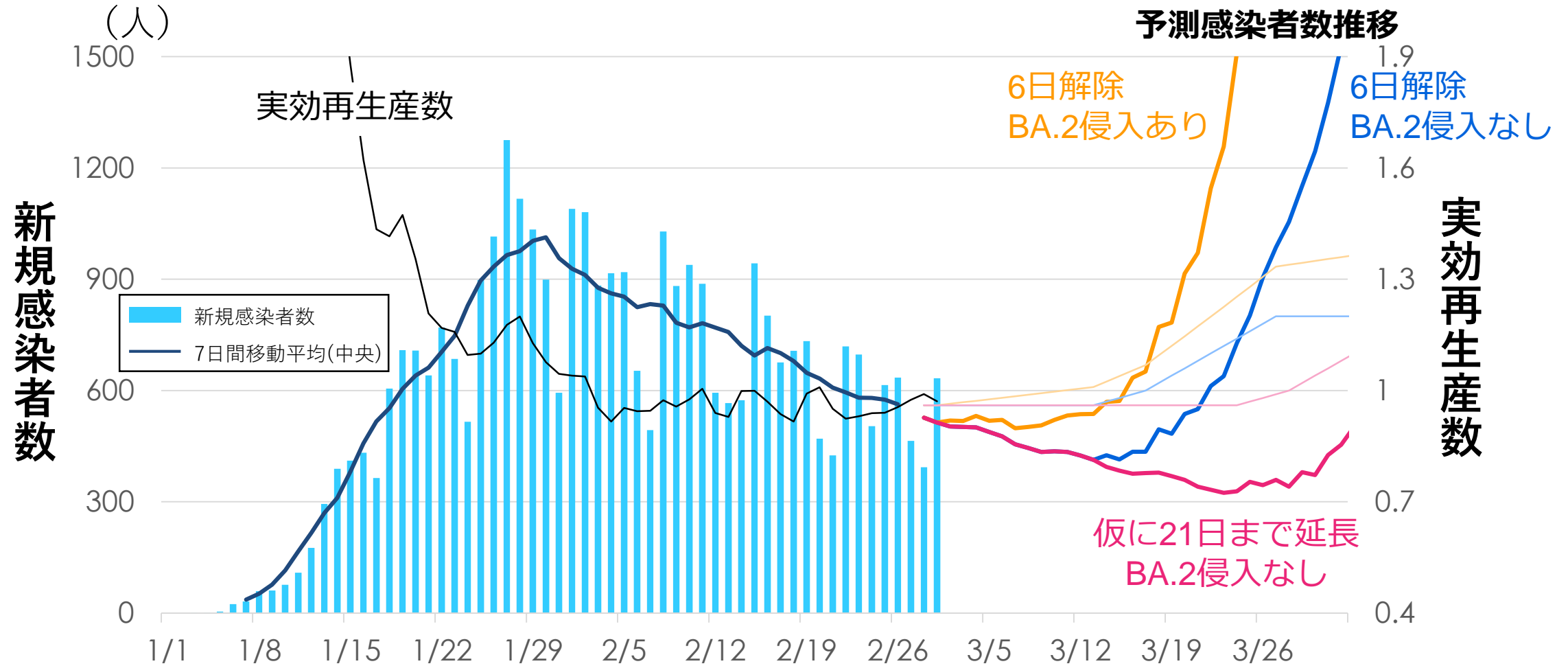


# 九州各県の感染状況



# 今後の感染者数推計

3月6日に対策を全て終了し、実効再生産数が感染拡大時の水準(1.2)に上昇した場合の推計。



ワクチン効果や、県民の対策強化による効果は加味しておらず、単純に増加した場合を想定。  
実際には、3月中旬からワクチンの発症防止効果や入院防止効果が顕在化すると考えられる。

BA.2系統の侵入は、3月1日に起こった想定で、実効再生産数等は英国のデータを使用 (BA.1の1.46倍)。